

しらすぎ

しらすぎ保育園
VOL56 NO.6
(通巻 658号)

<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

年度末に想う

園長 秋保めぐみ

年初めに、石川能登地方で大きな地震がありました。まず、被災された皆様に謹んでお見舞いを申し上げます。いまや地震は国内どこにいても回避できないといわれています。他人事ではありません。だからこそ保育園の安全対策や避難訓練を含め、常に考えておかなければと痛感しています。

さて、ゆり組の子どもたちが、書初めで今年頑張ることを書いて玄関に展示していました。そのかわいらしい決意に、ほのぼのさせてもらいました。そんなゆり組さんたちも、3月に巣立ちの時を向かえます。卒園式は思い出に残る式となるよう心を込めて準備してまいります。これまで大切なお子さんを、しらすぎ保育園に委ねてくださった保護者の皆様のご理解、ご協力に感謝いたします。また、4月のころをふりかえるとみんな大きく成長しました。どのクラスも2月から3月は、進級を目指し仕上げの季節です。各年齢でそれぞれ違いはありますが、“できたよ”を積み重ねて自信を持って次のステップに進めるように褒め、励まし、身の回りのことは自分ですするという気持を育ててまいります。

2月のテーマ

「広がるおはなしの世界」

絵本や昔話の読み聞かせを通じて、おはなしの世界を楽しむ。想像力が広がり、各年齢に応じて劇遊びや表現遊びへと発展、また絵画で表現ができるようになる。

*2月は全クラス統一のテーマです。

～節分～

ばら組担任 野矢真穂

今、園庭には各クラスの個性溢れるおもしろい鬼が登場しています。節分の日はこの鬼たちに豆まきをします。節分と言えば、恵方巻きや歳の数だけ豆を食べる習慣があります。以前は、保育園でも食事に子どもたちが自分で具材を巻いて食べる手巻き寿司(3才～5才)、おやつには節分豆を食べていましたが誤嚥の危険があるためにやめました。今年のメニューは「おにぎり、大豆とじゃこの甘辛揚げ」大豆を使った揚げ物と鬼とおにををかけておにぎりだそうです。いつもと少し違う食事。節分の日が今から楽しみです。

☆2月のプラン

- 1日(木) 劇団すぎのご観劇会
＜さくら・すみれ・ばら・ゆり組＞
- 2日(金) 節分(豆まき)
- 8日(木) 交通安全教室(ゆり組)
- 15日(木) 弁当日
- 13日(火)・15日(木)・16日(金)
保育参観①
- 17日(土) 新入園児説明会
- 19日(月) 地震訓練
- 20日(火)～22日(木)
保育参観②

＜園庭開放 2月7日(水)＞



保育参観について

2月13日(火) ゆり組

- ・英語のレッスン
- ・パラバルーン(保護者参加)

毎週楽しみにしている英語のレッスンの様子を見て頂きます。パラバルーンは保護者の方と一緒に、いろいろな技に挑戦します。みんなで心を1つにして楽しみましょう！

2月15日(木) ばら組

- ・製作「ひなまつり」
- ・ドッジボール(保護者参加)

はさみやのりを使ってお内裏様とお雛様の製作をします。作り方の説明を聞き、上手にはさみを使っているところ見てください。その後、保護者の方とドッジボールをします。

2月16日(金) すみれ組

- ・運動遊び
- ・ゲーム(保護者参加)

鉄棒、跳び箱、ジャンプ、トランポリンなどの運動遊びをします。鉄棒はツバメにチャレンジ！保護者の方にカッコイイ姿を見てもらいたくて、頑張って練習しています。後半、親子でゲームを楽しみましょう。

2月20日(火) さくら組

- ・朝の会
- ・フルーツバスケット
- ・島鬼

2月21日(水) もも組

- ・劇遊びごっこ
「でんしゃにのって」
- ・保護者と触れ合い遊び

劇遊び『でんしゃにのって』の「ガタコト～」と電車が走る音を口ずさむことが大好き。いろいろな動物になりきって手遊びや歌を披露します。どんな劇遊びになるのかお楽しみに♡

2月22日(木) たんぽぽ組

- ・ごっこ遊び
- ・親子ふれあい遊び

朝の会を大好きな絵本を通して自分の「フルーツ」を題材化を炸るまき保護者愛車とボク娘をじたげダスタを止るす。その後さたどもあざけりす縮島鬼の様遊を見乗頂きます。えたらと思っています。

～地震訓練～

すみれ組担任 花木ひかり

元旦から能登半島の地震に驚きました。最大震度6強、津波の影響もあり被害が大きくなりました。保育園では年に3回地震訓練を行っています。部屋の中央に集まりビニールシートの下に入り、防災頭巾を被ります。揺れがおさまると3才児以上は避難靴を履いて非常用滑り台、非常階段を使って避難の練習をしています。訓練中は保育士の話をよく聞いていつも以上に集中して参加しています。地震は突然起こるものです。防災グッズの見直しや避難経路の確認など日頃から準備しておくことが大切だと改めて思いました。

＜編集後記＞

先日、和歌山の海へ行った時砂浜を見回すとたくさんゴミが捨てられていました。扇風機などの電化製品、衣類や鍋など明らかに家庭の不用品ばかり。1月から事業所対象に紙の分別回収が始まりました。使える資源を大切にリサイクルしようという取り組みです。海の不法投棄を思い出すと矛盾を感じずにはいられません。まずひとりひとりがもっとゴミに対して意識していかなければ強く感じ、機会あるごとに子どもたちにゴミの捨て方、資源の大切さを話していきます。(小田嶋)

＜今月の担当：小田嶋幸恵・花木ひかり・野矢真穂＞